

2010年度早稲田大学入学時ローンならびに利子補給奨学金申し込みについて

当学では、新1年生入学予定者を対象に、「入学時ローン」制度を設置しています。早稲田大学が保証することによって、入学予定者本人が無担保かつ低利で指定金融機関から入学時納入金全額の融資を受けられる制度です。早稲田大学へ入学を希望する受験生が、経済的理由により入学を断念することがないよう、入学時の経済的負担を軽減することを目的としています。また、借入に伴う在学中（標準修業年限内）の利子を「利子補給奨学金」として給付する制度も設置しています。

なお、「入学時ローン制度」は、銀行ローンですから**確実な返済計画を立てて**お申込みください。また、この制度は、早稲田大学へ確実に入学する方を対象とした制度です。合格後、大学へ借入申請書類提出後に入学を辞退することが予想される方は対象外となります。万一、借入申請書類提出後に入学を辞退した場合には、入学時納入金全額（入学時ローン借入金額）を直ちに納入していただくことになります。

また、入学後に退学・抹籍等により在籍しなくなった場合には、銀行に対して融資金の全額を直ちに一括繰上返済していただくことになります。

2010年度入学時ローン制度・利子補給奨学金制度は、2009年12月の改正割賦販売法の施行に伴い、利用できなくなる可能性があります。この件に関しては詳細が判明次第、お申し込みの方にご連絡致します。

（1）入学時ローンの概要

特長	早稲田大学が保証することで、入学予定者本人が無担保かつ低利で、金融機関から直接融資を受けることができます。		
融資対象者	入学時55歳未満の新1年入学者本人で以下の所得基準を満たし、連帯保証人2人の同意を得られる者。ただし、在日外国人のうち、在留資格が「永住者」ならびに「永住者の配偶者等」以外の外国籍の人および外国人留学生は除きます。		
所得基準	学生の家帯の年間総収入が右記の基準内の者	給与所得者	1,800万円未満
		給与所得者以外	900万円未満
融資対象金額	入学時 の大学宛納入金全額の一括融資のみ（入学金、初年度前期分学費および諸会費のみ）		
融資利率	変動金利型(2009年9月現在では1.975%、年2回見直し)		
返済	返済は融資実行月の翌月(銀行によっては実行月)から開始しますが、在学期間中(標準修業年限内)の元金の返済は据置きます(在学中は利子のみを毎月返済し、卒業後に元金と利子を併せて毎月返済します)。		
融資期間	1年以上20年以内 [1か月単位]		

（2）利子補給奨学金の概要

特長	入学時ローン利用者のうち、下記 の所得基準内の者全員に対して、在学期間中(標準修業年限内)の利子について以下 の利子補給利率を上限に、大学が「利子補給奨学金」として毎月給付する制度です。		
所得基準	学生の家帯の年間総収入が右記の基準内の者	給与所得者	1,200万円未満
		給与所得者以外	600万円未満
利子補給利率	2010年度入学者については、 3.5%を上限 に在学期間中(標準修業年限内)の 利子補給 を行います。 * 融資利率が3.5%を上回った場合の不足分は、学生本人の自己負担となります。		

その他の注意事項

・入学時納入金が納入済である場合には、「入学時ローン」は適用できません。

- ・実際に融資を受ける場合には、大学に対し、本人の印鑑登録証明書、連帯保証人2名の同意書・印鑑登録証明書等(本人が未成年の場合には、親権者の同意書も必要)の提出が必要になります。
- ・融資の実行には、本人自身(代理人不可)が大学と銀行に出向いて融資手続、融資契約を締結することとなります。
- ・当制度は、**当学に確実に入学する方が対象です**ので、「入学時ローン」の融資を希望し、大学へ借入申請書類を提出した後に、万一諸般の事由により入学しない場合には**融資実行前であっても大学に対して入学時納入金の全額を、また融資実行後に退学・抹籍した場合は、銀行に対して融資実行額の全額を一括繰り上げ返済していただくこととなります。**

(3) 両制度の申込方法

受付期間 2010年1月12日(火)~2010年1月15日(金)〔締切日消印有効〕

- 必要書類 イ．早稲田大学入学時ローン兼利子補給奨学金申込書
 オ．所得に関する証明書等(下表参照)
 ハ．返信用封筒(200円切手貼付)

所得の有無にかかわらず、父母(父母がいない場合はそれにかわる家計支持者)の証明書が必要です。

	父 母	証 明 書 の 種 類	発 行 箇 所
A	2007年12月以前から現在と同じ職にある方	最新の「所得証明書」 源泉徴収票では不可	市・区・町・村役場 (税務署ではありません)
B	2008年1月以降に就職・転職・退職等した方	最新の所得証明書 源泉徴収票では不可 最新の給与明細書(コピー) 転職・退職・廃業等した方は退職・廃業の証明書。	市・区・町・村役場 (税務署ではありません) ・ 給与支払箇所等 (会社事業所等)
C	自営業等を2008年1月以降に始めた方	最新の所得証明書 年間所得の見込書(様式自由) 「売上・原価・経費=所得」等を詳細に記入してください	市・区・町・村役場 (税務署ではありません) 事業主本人
D	所得のない方、または所得額が非課税額内の方	最新の非課税証明書 所得のない方でも非課税証明書は発行されます	市・区・町・村役場 (税務署ではありません)
	海外在住で所得証明書が取れない場合	2008年中の総収入(円換算したもの)を証明する書類。 外国語の場合は、日本語訳を添付	給与支払箇所(会社事業所等) 日本語訳は、本人記述可

**申込書類が大学到着後、数日程度で本制度に該当するか否かを郵送にて通知します。
 (手続方法の詳細を掲載したパンフレットは、該当通知とあわせて交付します。)**

(4) 申請から融資実行までの流れ(必読のこと)

- 受験生 奨学課 申込書・所得関係証明書類等を郵送。
 奨学課 受験生 該当結果と詳細なパンフレットの交付(郵送)。
 受験生 研究科 研究科の入学手続(研究科の指示に従うこと)。
 受験生 奨学課 2010年3月8日(月)~3月9日(火)のいずれかの日に奨学課へ来課し、融資申込関係書類を提出。
 受付時間:午前10時~午後2時(12:30~13:30閉室)
 受験生 銀行 2010年3月8日(月)~3月11日(木)に希望の銀行支店に来行し、融資申請をする。
 銀行 受験生 銀行による審査の結果と融資実行日を告知。
 受験生 銀行 融資実行日に希望銀行支店に来行。
 上記来課・来行は、**受験生本人に限ります(代理人は不可)**。

(5) 早稲田大学入学時ローン取扱金融機関一覧

下表からあらかじめ選択のうえ、申込書に記入してください。

金融機関名	取 扱 店	金融機関名	取 扱 店
みずほ銀行	高田馬場・早稲田	三井住友銀行	高田馬場・他国内本支店
りそな銀行	早稲田・他国内本支店	三菱東京UFJ銀行	江戸川橋
埼玉りそな銀行	埼玉県内本支店		

取扱店については金融機関の都合や統廃合により変更する場合があります。

* 当制度・奨学金関係のお問い合わせは、学生部奨学課()03-3203-9701

(6) 応募書類について

応募封筒の記入例
(大きさは自由)

169-8050
早稲田大学
学生部奨学課 御中
東京都新宿区戸塚町1の104
入学時ローン申込書 在中



同封する書類(書類不備は受け付けません)

イ. 入学時ローン
兼利子補給奨学金
申込書

ロ. 所得に関する証明書等

ハ. 返信用封筒(例)

記入上の
注意を参
照してく
ださい。

母の証明書
父の証明書

収入の有無に関わらず父母の所得証明書あるいは非課税証明書が必要です。父母がいない場合はそれに代わる家計支持者(祖父母・兄弟姉妹等)の証明書を提出してください。

200円
切手

早稲田
健 様

××区
×××
×××
×××

240mm
角型2号封筒

330mm

朱書

提出書類記載の個人情報および所得証明書の情報については、当制度に該当するか否かの判定のためのみ利用するものであって、その他の目的に使用することは一切ありません。

「早稲田大学入学時ローン兼利子補給奨学金申込書」記入上の注意。

融資希望銀行名

融資を希望する銀行・支店名を取扱金融機関一覧を参照に、必ず記入してください。

家族

ア. 「家族欄」は、本人の父母を記入してください。父母がいない場合は、家族欄に父母以外のそれに代わる家計支持者(祖父母・兄弟姉妹等)を記入してください。

イ. 「年齢」は、記入日現在で記入してください。

ウ. 現在の「職業」は、「商業」などとせず、雑貨小売商、洋服仕立業、国家・地方公務員、高校教諭、会社員などと具体的に記入してください。

エ. 「父または母死亡・生別・無職等の場合」の「理由」は、病死、事故死、離別、定年、倒産などのように記入してください。

特記事項

入学予定者が家計支持者または独立生計者の場合、以下の〔1〕〔2〕のいずれかに該当し、本人および配偶者の年間総収入での判定を希望する場合は、特記事項欄を記入、家族欄に本人および配偶者の職業・勤続年数を記入すると共に、本人および配偶者の所得証明書も提出してください。また、父母等の扶養になってない証明として「健康保険証」の写しを添付してください。

〔1〕家計支持者 入学予定者本人および配偶者の収入^{注1}によって父母等を扶養し、本人または家族の生活費(学費を含む)の全てを継続的に賄っている者。

〔2〕独立生計者 入学予定者本人および配偶者の収入^{注1}があり、父母等の扶養にならず独立した生計を営み、本人または家族の生活費(学費を含む)の全てを継続的に賄っている者。

注1: 人事院の調査によると、一般に必要な一人当たりの生活費(標準生計費)は、年額150~300万円の範囲とされています。

家族住所

父母の居る家族住所を記入してください。

2010 年度 早稲田大学入学時ローン兼利子補給奨学金申込書

政治学研究科 修士課程(4月入学) 一般入試・社会人入試 どちらかに をしてください
(第二期募集)

太線枠内を記入または該当する項目を で囲んでください。 記入日 年 月 日

本人	出願箇所		ワリガナ				
	政治学研究科 修士課程 専攻 専修		氏名				
			19 年 月 日生 歳				
			融資希望銀行名・支店名				
		銀行			支店		

家	続柄	氏名	年齢	職業	勤続年数	給与	給与以外
	父						万円
母						万円	万円
父または母死亡・生別・無職等の場合その年月(年 月)理由()・前職()							
族							

給与合計・給与以外合計							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

判定	入学時ローン		利子補給奨学金	
	基準内	基準外	基準内	基準外

特記事項	家計支持者・独立生計 の判定を希望		その他特殊な家計状況で付記しておきたいこと。(別紙添付も可)
	本人・配偶者の年間総支出 (住居費・生活費・学費等) _____万円		
	預貯金 _____万円		

本人現住所	〒	TEL - -
家族住所	〒	TEL - -

所得に関する証明書等とこの申込書を一緒に送付してください。

提出書類の内容に虚偽があった場合は、申込を取消します。また、一度提出した書類は、どのような事情があっても返還できません。